

教職支援室便り (3月号)

令和5年 3月 10日 (金)

文責：教職支援室 曾我文敏

☎0985-20-4808

卒業、そして教職に就く皆さんへ

いよいよ卒業の月になりました。来月からは、社会人として、教員として職務に就くこととなります。職務遂行上の責任が伴うこととなりますが、誠実な姿勢があれば、他者から必ず信頼を得ることができます。これからの人生においても、大きな目標や希望をもち、自分の生き方を創造していきましょう。

さて、1月号から、教職に就く皆さん、また今後教職をめざす皆さんへの、卒業生からのエールを紹介しています。今回は、佐賀県多久市立東原座舎中央校の、坂元賀子さんに寄稿していただきました。お忙しい中、本当にありがとうございました。心から感謝いたします。



令和3年3月卒業

佐賀県多久市立東原座舎中央校 坂元賀子さん

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。私は小学校1年生を担当させていた
だいている、教員2年目の公立大卒業生です。

私は2年前の4月1日のことを鮮明に覚えています。先生方の前で自己紹介をし、すぐ
に職員会議、学年会議、教材選定など…。周りだけが動いていて、自分はぽつんと取り残
されたような、そんな1日でした。何をすべきなのかが全く分からず、「これからやってい
けるのだろうか」と不安を抱えて、帰宅しました。

そこから、私は「1年目だからこそ、たくさん聞ける。何でも聞くぞ。」と心に決めまし
た。教材研究や生徒指導、大きいことから小さなことまで、聞いて聞いて聞いて、自分な
りにやってみて、改善して…。

2年目を終える今、こう思っています。「何歳になっても、色んな先生に質問して、学ん
で、自分を磨き続けていきたい。」現場には色んな先生がいらっしゃいます。教科を研究さ
れている先生、ICTが得意な先生、生徒への言葉掛けが上手な先生。聞くことは恥ずか
しいことはありません。「教えてください。ありがとうございます。」この言葉を忘れず
に、自分に満足せず、自分を磨き続けてください。

みんなが通る1年目。想像以上のきつさ、辛さがあると思います。1人じゃありませ
ん。上司や同期、家族や友人、みんなに支えてもらいながら、頑張ってください。心から
応援しています。

教職特別講座：新年度計画

教員採用選考試験まで、あと4か月あまりとなりました。4月には、願書等の作成が始まります。教職をめざす思いを、更に強くもってほしいと願います。教職特別講座も、下欄にある新年度計画（4月～7月）を立てました。改めて見ると、第一次試験までの、教職特別講座の実施回数は多くはありません。また、ほとんどの人が、5月から6月にかけて教育実習を受ける予定です。受験する学生の皆さんには、限られた時間の中で、ベストを尽くしてほしいと思います。まずは、各自第一次試験までの見通しをしっかりとって、焦ることなく教職特別講座や自主学習に取り組んでください。

日曜	演習内容
4月 7日 (金)	東京アカデミー模擬試験
4月 11日 (火)	体罰防止に関する通知文等 討論「体罰防止の方策」
4月 13日 (木)	令和の日本型学校教育
4月 18日 (火)	講話「採用試験で問われる教員としての資質・能力1」
4月 20日 (木)	地方教育行政の組織及び運営に関する法律
4月 25日 (火)	キャリア教育 教育職員免許法
4月 27日 (木)	討論「キャリア教育の在り方」 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 人権教育・啓発に関する基本計画
5月 9日 (火)	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 人権教育・啓発に関する基本計画
5月 11日 (木)	人権教育の指導方法等の在り方（第三次とりまとめ）
5月 16日 (火)	講話「採用試験で問われる教員としての資質・能力2」
5月 18日 (木)	特別支援教育
5月 23日 (火)～6月 13日 (火)	教育実習期間・個別支援期間・自主学習期間
6月 15日 (木)	インクルーシブ教育
6月 20日 (火)	チームとしての学校 性同一性障害
6月 22日 (木)	生徒指導提要 教員の働き方改革 情報教育
6月 27日 (火)	教育振興基本計画 教育心理 教育史
6月 29日 (木)	教職教養確認問題 専門教養演習問題 個別支援
7月 4日 (火)	教職教養確認問題 専門教養演習問題 個別支援
7月 6日 (木)	自主学習 個別支援
7月 8日 (土)・9日 (日)	九州各県市教員採用選考試験（予定）
7月 11日 (火)	講話「面接力を考える」&演習
7月 13日 (木)	講話「模擬授業力を考える」&演習
7月 18日 (火)～ 夏季教職特別講座 別途計画	

道徳の教科化に思う！（シリーズ70）

平成29年の6月号から、「道徳の教科化に思う」をテーマに、道徳授業の本質的な在り方等について連載しています。

今回は、「道徳科における発問を考える」をテーマに、その3として「2つの指導方法と発問」についてまとめました。

◇ 2つの指導方法と発問

道徳の教科化以降、これまで登場人物の心情理解のみに偏った、形式的な指導があったこと等の反省から、現在は主に、「読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習（以下、自我関与が中心の学習）」、「問題解決的な学習」、「道徳的行為に関する体験的な学習」の3つの指導方法が研究されている。中でも「自我関与が中心の学習」、「問題解決的な学習」の2つの指導方法については、発問の在り方が論議されている。

「自我関与が中心の学習」は、昭和33年に道徳の時間が特設されて以来、多くの先生方が実践研究に取り組んできた。これまでの道徳授業の中にも、児童生徒が自我関与しながら、自分との関わりの中で、様々な角度から主人公の価値観を語り合うなど、主体的にねらいとする価値を追求する授業があった。学習指導要領においては、「自我関与が中心の学習」について直接的な表記はないが、道徳科の特質を踏まえた授業を行う上では、重要、不可欠な指導方法であると考えられる。また、道徳科の教科用図書においても、「自我関与が中心の学習」に適した教材が多く取り上げられている。今後は、授業者の明確な主題設定や指導観のもと、登場人物の心情理解のみの指導（発問）にならないよう、教材分析や発問構成の工夫が課題である。

一方、「問題解決的な学習」については、児童生徒の発達段階や特性等を考慮しながら、道徳科の特質を生かすことに効果があると判断された場合には、適切に、有効に活用するとされている。（学習指導要領解説）「問題解決的な学習＝議論すること」を目的化すると、判断力の理解のみに偏った形式的な指導になるなど、道徳科の特質に即した授業が成立しない。「あなたならどうする発問」の活用については、その意図を明確にすることが重要である。

ここで、先月号で紹介した、中学校教材「足袋の季節」を活用して、「自我関与が中心の学習」、「問題解決的な学習」における発問構成例を、参考までに紹介する。

【「自我関与が中心の学習」中心の発問構成例】

<ねらい>

人には、人としての弱さや醜さがあるが、それを克服しようとする強さや気高さもあることを自覚し、人間尊重の精神に裏打ちされた誇りをもって、生きようとする心情を育てる。

Q1. おばあさんの「五十銭玉だったね？」の言葉に、思わず「うん。」と答えたとき、また「踏ん張りなさいよ。」と四十銭を握らせてくれたとき、主人公はどんな気持ちだったでしょう。

補：人には、そのような弱さがあるのでしょうか。それでよいのでしょうか。

Q2. その後の主人公は、日夜胸を苦しめたとありますが、心の中には、どんな思いがあつたでしょう。

補：おばあさんのどんな姿が、頭に浮かんできたのでしょうか。

補：そこまで、自分を責めなくてもよいのではないですか。

Q3. 泣きながら流れていくかごを見ている、主人公の心の中には、どんな気持ちが込み上げていたのでしょうか。

補：そこまで泣かなくてもよいのではないですか。もう罪を償うくらい、自分を責めてきたのだから。

補：くじけずにやり通せた主人公は、どんな心をもつ人だったのでしょうか。

【「問題解決的な学習」中心の発問構成例】

<ねらい>

おばあさんを裏切った主人公の立場に立ち、そのときの自分の判断を明確にしなが
ら、自分との関わりの中で考えさせることにより、自らの弱さや醜さを克服する強さを
もち、人間として気高く生きようとする態度を育てる。

Q 1. 自分が主人公の立場だったら、四十銭を渡すおばあさんに、正直に間違いを言いますか。

あなたなら、どうしますか。

- ・ネームカードを活用し、黒板に自分の気持ちを意思表示させる。
- ・「言う」と「言わない」それぞれの立場で意見の交流をさせる。
- ・意見交流後、考えが変わった人がいるかどうか確認する。

Q 2. おばあさんの死を知り、「むしように自分に腹が立ってしょうがなかった。」のは、なぜで
しょうか。

Q 3. その後、主人公がくじけずにやり通せたのは、なぜだと思いますか。

Q 4. 主人公は、おばあさんにどんな心をもらったのでしょうか。

今回は、「道徳科における発問を考える」をテーマに、その4として、「読み物教材の特質
と発問の起点」について掲載する予定です。